

## オープン市場短信 (2007年5月)

2007.5.11

### 4月のCP市場動向

3月期末対策として有利子負債を圧縮するため、いったん残高を落とした事業法人が4月に入り多くの業種で積極的に復活発行を行なったことから、4月のCP新規発行額は期落ち(約4兆2千億円弱)を大きく上回り、5兆1,000億円強となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。

発行レートは、月間を通じて弱含み横ばい圏内での出会いで推移した。これは、事業法人の大量発行により需給バランスが悪化したにも拘らず、新年度入りもあってそれを上回る強い購入ニーズがみられたこと、4月16日から、日銀による「準備預金残高見込み」の公表時刻が前倒しされ、足元金利の予想がしやすくなったことなどから、現先金利が先月までに比べ落ち着いて推移したこと、日銀による早期利上げ観測が薄れてきたこと、などによるものと見られる。イールドのフラットニング化が進み、最上位格付けでは1Mから3M物で4bp程度の差になっており、短国金利に接近する方向へのシフトが見られた。

### 銘柄別の発行レート

#### 4月のCPレートレンジ

格付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.57 ~ 0.595%	0.575 ~ 0.590%	0.579 ~ 0.610%
格付 a-1 (オペ適格)	0.585 ~ 0.604%	0.58 ~ 0.610%	0.600 ~ 0.625%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.578 ~ 0.680%	0.574 ~ 0.599%	0.588 ~ 0.600%
格付 a-1 (リース銘柄)	0.582 ~ 0.620%	0.579 ~ 0.650%	0.590 ~ 0.650%
格付 a-2	0.605 ~ 0.950%	0.634 ~ 1.20%	0.640 ~ 1.50%

### CP オペ

18日に、2/23以来約2ヶ月振りとなるCP買い現先オペが実施された。20日の資金不足に合わせての資金供給であったが、各ディーラーの保有玉がさほど多くなく、落札倍率は1.40倍に止まった。足切レートも、共通担保資金供給オペを下回る0.56%まで伸びる結果となった。CP買い現先オペの回数が減り、実施時期も不定期となって予想がつけにくくなったため、ディーラーが資金繰り面でCPオペを期待しづらいとの声も聞かれている。

#### 4月末のCPオペ残高

CP現先オペ残高・・・2,901億円

(短期社債・保証付短期外債 2,845億円/資産担保短期債券 56億円)

### ABCP

4月末のABCPの発行残高は4兆9,696億円(前月比約4,051億円減少)と、前年同月(53,723億円)を大きく下回った。企業・銀行とも資金余剰地合いとなる中で、債権流動

化ニーズはさほど強くないということの表れであろう。

#### 短期社債残高

証券保管振替機構発表によると、短期社債の4月末発行残高は19兆5,361.93億円と前月比約5,690億円の増加であった。業種別ではABCPが大幅減少し、証券会社も減少、事業法人は期末減少分の復活発行により4,743億円の大幅増加、その他金融も約6,036億円の大幅増加となった。発行登録企業443社中、既発行企業は411社となった。

#### 現先市場

月中現先レートは低位安定で推移。月中物は0.52%~0.58%の出会い。

### 5月のCP市場動向

5月中のCP償還額は、前年(約3兆4,000億円)を上回り、約4兆2,000億円となっている(除く金融機関発行CP・ABCP)。今月は、20日過ぎから賞与資金手当てや納税目的の発行が増えることから、期落ち以上に発行が膨らむ見通しである。

発行レートは、前月からの地合いを受けて弱含みでスタートしている。月後半には、需給悪化により強含みが予想されるものの、昨年までと比べ金利水準上がっていることにより運用者も増加しているため、大きな相場変動はないだろう。4月27日に発表された日銀の「展望レポート」では、2007年度消費者物価指数の見通しが市場予想比低目となっており、早期利上げ観測は後退している。

#### CPオペ

現先オペは、29日に期日が到来する。資金需給を勘案して、不足日にあわせて実行されることとなる。

#### 現先市場

月中現先レートは、S/N物で0.53~0.58%の出会いを予想する。ターム物は0.55~0.58%の水準の出会いを予想する。

(松倉)

#### 参考資料

#### 業種別残高内訳

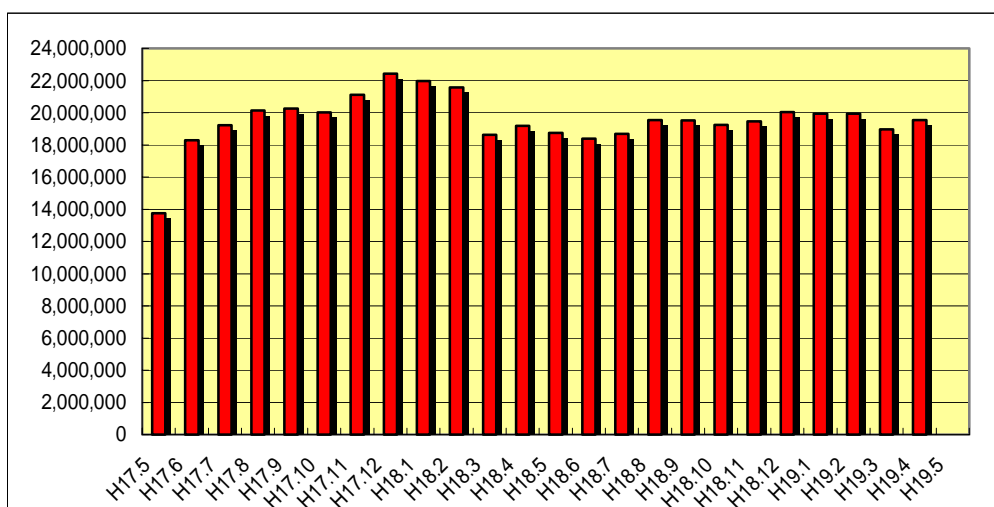
			単位:億円
業種	4月末残高	3月末残高	増減
事業法人	48,929	44,186	4,743
その他金融	72,840	66,804	6,036
金融機関	23,897	24,935	1,038
(銀行等	11,774	11,518	256)
(証券	12,123	13,417	1,294)
ABCP	49,696	53,747	4,051
計	195,362	189,672	5,690

(注:買入消却分含む)

## 短期社債月末残高（H17年5月～H19年4月）

4月末発行残高：19兆4,361.930億円

発行登録企業：443社（発行実績あり411社）



## 4月末発行残高ベスト20

（単位：百万円）

順位	発行企業名	4月末残高
1	三菱UFJリース	895,500
2	オリックス	820,000
3	フォレスト・コーポレーション	730,681
4	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	723,100
5	エイペックス・ファンディング・コーポレーション	652,500
6	三菱UFJニコス	564,000
7	日産自動車	450,000
8	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	425,600
9	住商リース	394,000
10	ミレニアム・ファンディング・アセット	374,550
11	みずほ証券	372,700
12	住友信託銀行	363,700
13	新日本石油	357,000
14	みずほコーポレート銀行	325,200
15	東京リース	302,200
16	興銀リース	301,500
17	日産フィナンシャルサービス	300,000
18	三井住友銀リース	292,900
19	東京電力	287,000
20	芙蓉総合リース	276,000

参考出所（株）証券保管振替機構